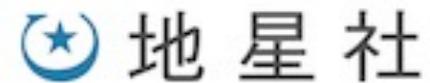


特定非営利活動法人 地星社

第10期 事業計画書

2021.4.1 - 2022.3.31



私たちが目指すもの(ビジョン)

私たちひとりひとりが地域づくり・社会づくりにかかわっていく社会の実現。

そのために私たちがすること(ミッション)

社会をよりよくする活動を行っている人や組織を支援し、増やしていく。

活動において大事にしたい原則

1. 信頼の原則

人や組織には、社会を変える力が本来備わっていることを信じ、その力が活かされるよう後押しする。

2. 互敬の原則

人を大事にし、互いに敬意合う関係性を築く。

事業分野	事業／内容
A 相談・個別支援	1. 相談・個別支援
	2. 復興庁被災者支援コーディネート事業
	3. 宮城県復興支援活動推進業務
	4. 岩沼市市民活動サポートセンター活動支援業務
B 人材育成	1. 市民ライター養成による「なとりの魅力発掘隊」事業
	2. 角田市次世代育成・担い手発掘事業
C その他	研修講師、各種会議委員等
組織運営に関する業務	理事会・総会等の会議、会計・税務、労務、会員管理等

- **ポスト復興の県域の中間支援のあり方について、実践と議論を進める。**
 - ポスト復興期のなかで、創造的な地域づくりに向けて、市民活動・社会教育・福祉などの枠組みを超えた支援を展開・実施していく。この実践の取り組みから、これからの時代の中間支援のあり方を議論していく。

- **地域に根差した取り組みを進める。**
 - 名取や岩沼といった地元から、地域づくり人材育成の取り組みを進め、参加者・協力者も増やしていき、地域参加・社会参加につなげていく。

組織内外の課題への主体的な取り組みを支援します。

事業の背景

震災後、新しく立ち上がった復興支援団体への個別支援の必要性を感じたことが、地星社をつくったきっかけの一つであり、設立当初から資金調達や法人運営、認定NPO法人取得などのテーマで継続的な個別支援を実施している。

このように、相談・個別支援は地星社の基本となる事業であり、現在は特に、地星社が依頼を受けて企画・実施する方法から、研修やワークショップをしながら支援先団体と一緒に課題解決について考える方法に変えて、団体の主体性を尊重するようにしている。

事業概要

目的

調査・計画づくり・評価等についての個別支援をすることで、組織基盤強化や課題解決を促進させる。

実施内容

依頼を受けて随時個別相談を実施。必要な場合は支援計画を立て、プロジェクトとして行う。

被災地で支援にあたる団体・機関の多様なニーズに対応します。

事業概要

事業目的

被災者が安定的でよりよい日常生活を送ることができるようになることを目指し、復興の主体である被災者や被災者支援に取り組む多様な担い手(自治体・支援組織・企業等)による活動の推進を総合的に支援する。

事業実施体制

本事業は、復興庁被災者支援総合交付金被災者支援総合事業の一環として行われ、宮城県では(一社)みやぎ連携復興センター・(特活)せんだい・みやぎNPOセンター、(特活)杜の伝言板ゆるる、地星社の4者の連携で事業を実施する。

実施内容

- ①被災者支援に取り組む多様な担い手の現状・課題の把握・整理
- ②被災者支援体制の構築・強化に向けたコーディネートの実施
- ③協働体制構築に係る各種ミーティングの開催

今年度の方針

被災地域を4つのエリアに分け、エリアごとに地域を巡回するコーディネーターを配置する。各エリアにおいて、地域の間支援組織やネットワーク組織とも連携を取りながら事業を実施する。また、エリアを超えて地域の課題やニーズについての情報を共有しながら、必要な支援をつなげられるようにする。

復興支援から平時の地域づくりの移行に向けた地域人材育成をサポートします。

事業概要

事業目的

県内市町が設置する復興支援員に対し、活動する上での課題の解決や、活動終了後の地域定着を見据えた支援を行うほか、被災地域の現状と課題・優良事例を関係者間で共有することで、広域の連携促進と復興支援活動の活性化を図る。

事業実施体制

宮城県の委託事業であり、昨年度は(一社)東北圏地域づくりコンソーシアムが受託し、地星社は宮城県サポートセンター支援事務所、(一社)東北まちラボとともに協力団体として事業に参画した。

今年度も事業に参画する方向で調整する。

実施内容

- ①復興支援員活動支援(ヒアリング、研修等の実施)
- ②関連する会議への出席(研究会、企画運営会議、実務者会議)
- ③その他

岩沼市で市民活動の総合相談を行います。

事業概要

事業目的

市民活動相談(アウトリーチ活動を含む)を通じて、岩沼市内で地域活動に取り組む市民・団体が増えることと、団体が地域活動の取り組みで成果を上げていけるよう支援することを目的とする。

事業実施体制

本事業は岩沼市からの委託で実施する。(特活)せんだい・みやぎNPOセンターも同事業を受託しており、岩沼市、せんだい・みやぎNPOセンターとも連携をとりながら事業を推進していく。

実施内容

- ①市民活動団体を対象としたミニ研修の開催(年3回)
- ②市民活動団体を対象とした連携促進イベントの開催(年3回)
- ③市民活動相談の実施(年6回)
- ④アウトリーチによる相談の実施(年6回)

今年度の方針

市内では市民活動がまだ活発ではない状況もあり、今年度から新しく始めるミニ研修、連携促進によって、市民活動相談へのハードルを下げることを目指す。

市民ライター養成を通して地域に関わる人材育成をしていきます。

事業の背景

名取市には、歴史や文化、産業や観光、市民活動などのさまざまな魅力がある。また、地域に愛着を持ち、名取で生活している市民も、地域の魅力と言えるだろう。

しかし、ひとりひとりの市民にとっては、知っている魅力はその一部であり、自分の生活や関心の範囲外にまだ気づいていない魅力がたくさん残っているのが現状である。

そこで市民自身が、まだ自分の知らない地域の新たな魅力に気づき、伝えるスキルを身に付けながら自分自身も輝き、魅力の発掘と発信を継続的に続けていけるように本事業を企画した。

事業概要

目的

地域活動に関心を持つ人たちが、被災地を初めとする地域の課題や取り組みについて調べる・伝えるスキルを学び、実践する場をつくり、地域人材として活躍できるようにする。

実施内容

- ①市民ライター講座の実施（取材・記事作成の方法、写真撮影の方法等）
- ②市民ライターによる地域の魅力の取材活動
- ③地域の魅力を記事にしてホームページやSNSで発信

事業実施体制

名取市市民協働提案採択事業として、市と協働しながら実施する。

事業概要

目的

主体的に地域の課題にチャレンジする人材を育成する。

実施内容

自分と地域を見つめながらマイプロジェクトをつくっていくプログラム「かく大學」を実施する。

事業実施体制

角田市が主催。講師は有限会社エコカレッジ代表取締役の尾野寛明氏。地星社はファシリテーターなどで協力する。

中期ビジョンを策定する

新型コロナの発生や、自治体からの事業受託など、事業環境の変化が大きく、現在の中期計画の通りには進んでいない現状があるため、改めて中期ビジョンを策定し直す。